日本航空株式会社
2025年3月期 第1四半期
決算説明会

JAPAN AIRLINES

JALアスリート社員　パリ2024オリンピック日本代表選手
左　：北口榛花(きたぐち はるか：陸上競技・やり投)
中央：加納虹輝(かのう こうき：フェンシング・エペ)
右　：村竹ラシッド(むらたけ らしっど：陸上競技・110mハードル)

2024年7月31日
代表取締役副社長執行役員グループCFO　斎藤祐二
執行役員　弓﨑雅夫

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

APEX
WORLD CLASS

Best Wi-Fi in Eastern Asia 2024APEX"

SKYTRAX
2024年度
World's Best
Premium Economy Class

SKYTRAX
World Airline Star
Rating
5-Star

1. 2025年3月期 第1四半期 業績概要
2. 2025年3月期 第1四半期 業績詳細
3. 参考資料

ESG社外評価

FTSE Blossom Japan Index ※

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

2024 CONSTITUENT MSCI日本株女性活躍指数 (WIN) ※

Member of Dow Jones Sustainability Indices
Powered by the S&P Global CSA

Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index2年連続選定

CDP DISCLOSURE INSIGHT ACTION ※

気候変動「A-」評価
(2023年度)

当社によるMSCIインデックスへの組み入れや、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名称の使用は、MSCI又はその関係会社による当社の後援、宣伝、販売促進を目的としていません。MSCIのサービスおよびデータはMSCIの独占的財産で、MSCI及びMSCIインデックスの名称とロゴは、MSCI又はその関係会社の商標又はサービスマークです。

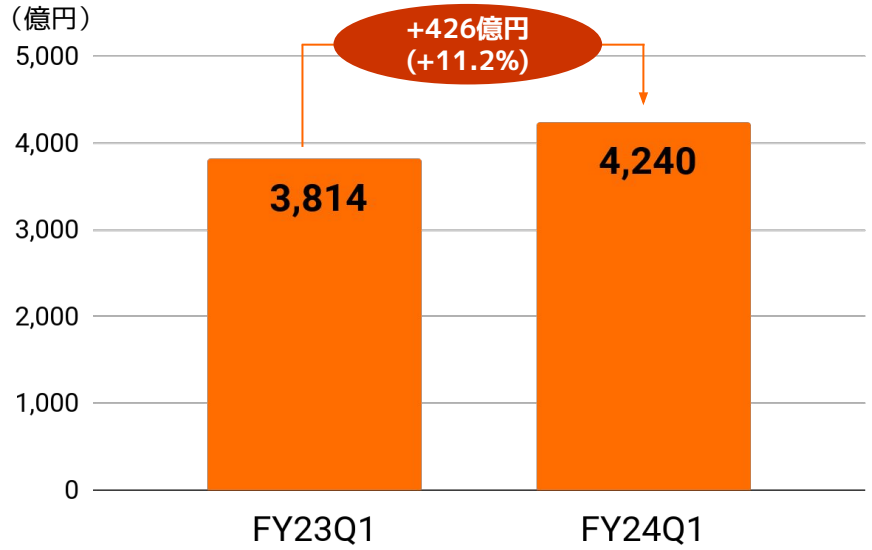
注.(1) 当資料における表中の値は、金額は億円未満を切り捨て、比率は小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
(2) LCC=Low Cost Carrier (3) ※= 役員報酬算定にESG銘柄選定評価を導入しており、対象とする銘柄のうち当社が選定されているもの

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

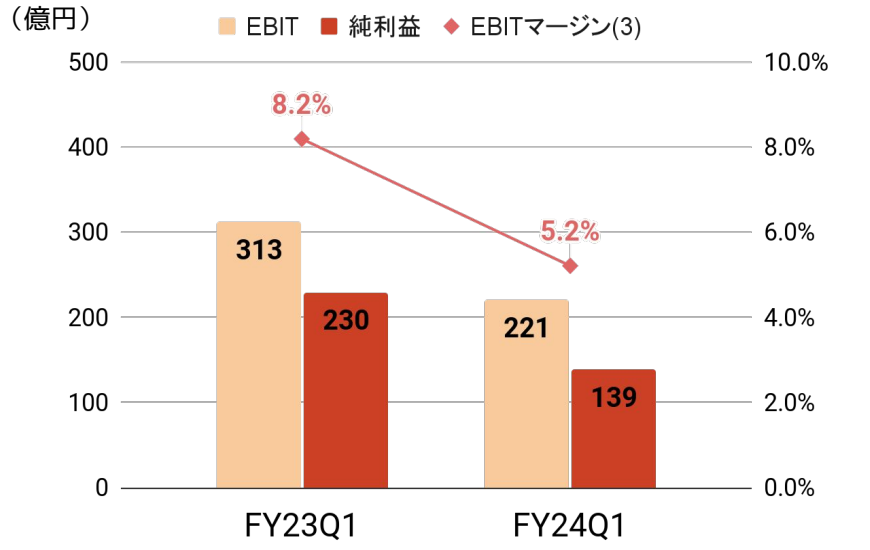
2025年3月期 第1四半期　連結業績概要

- ✔ 国際旅客は好調なインバウンドにて収入を伸ばすも国内旅客は旅客数が伸びず収入は微増
- ✔ 事業構造改革の進展による非航空事業の増益やコスト削減努力などにより利益は計画を達成
- ✔ 国内旅客は今後の旅行シーズンにおいて各種施策により低需要便を中心に需要の喚起に取り組む

売上収益



EBIT (1)/純利益 (2)



燃油・為替市況実績

	FY23Q1	FY24Q1	前年同期比
シンガポール・ケロシン (USD/bbl)	94.7	100.2	+5.8%
ドバイ原油 (USD/bbl)	78.9	85.8	+8.7%
為替 (円/USD)	134.7	153.7	+14.1%

運航諸元/ASK

	FY24Q1（前年同期比）		
	国際線	国内線	合計
フルサービスキャリア	+3.8%	▲0.3%	+2.1%
LCC	+45.3%	+5.7%	+42.4%
合計	+9.3%	▲0.2%	+5.5%

(1) EBIT=財務・法人所得税前利益（税引前利益から利息等の財務収支を除いたもの）(2) 純利益=親会社の所有者に帰属する四半期利益　(3) EBITマージン=EBIT/売上収益

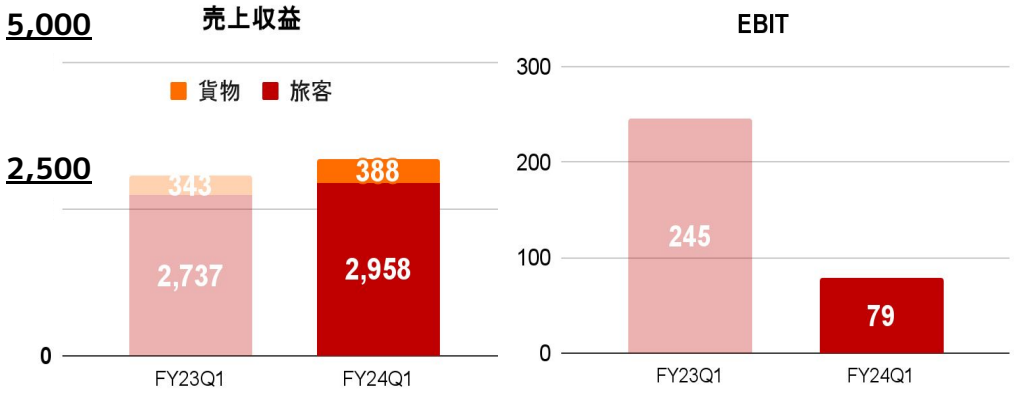
©Japan Airlines, ALL rights reserved.

2025年3月期 第1四半期　セグメント別実績

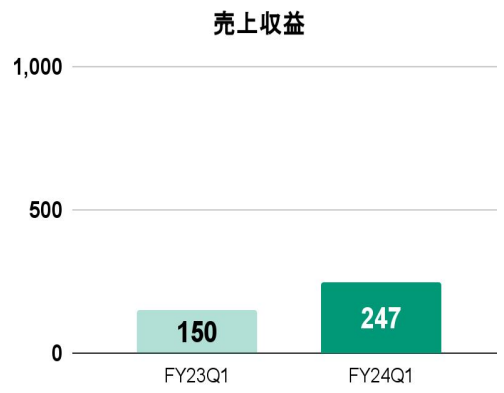
- ✔ FSCは国際旅客がけん引し、売上収益が前年から伸長
- ✔ LCCはZIPAIRが引き続き好調で黒字化、中国需要の回復によりSPRING JAPANもQ2に黒字化見込む
- ✔ マイル/金融・コマースはマイル発行数増加等により売上増、その他は受託事業がけん引しEBITが伸長

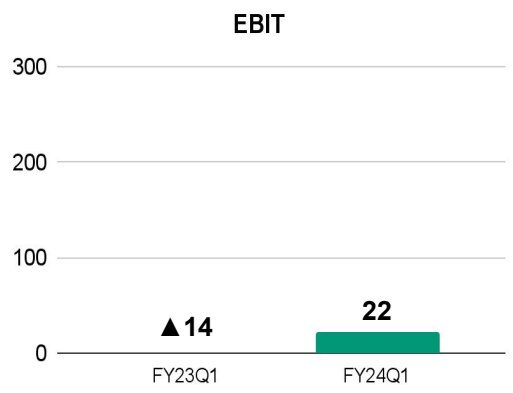
（億円）

FSC（フルサービスキャリア）

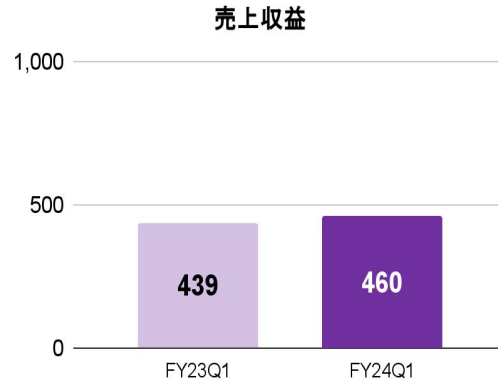


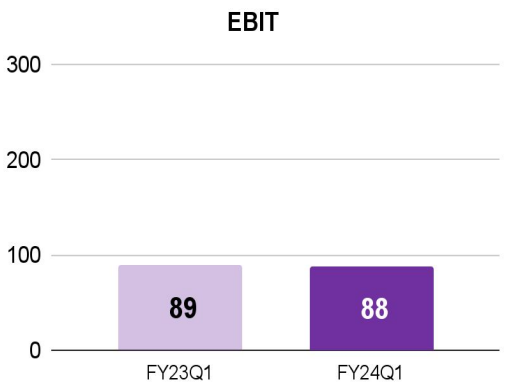
LCC



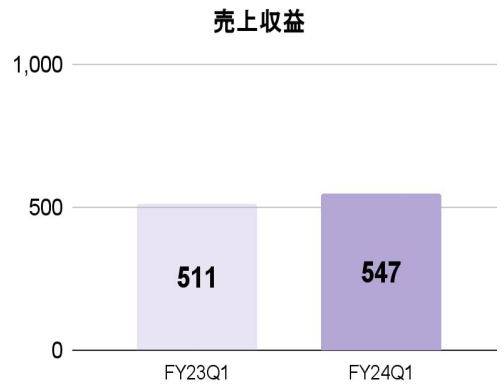


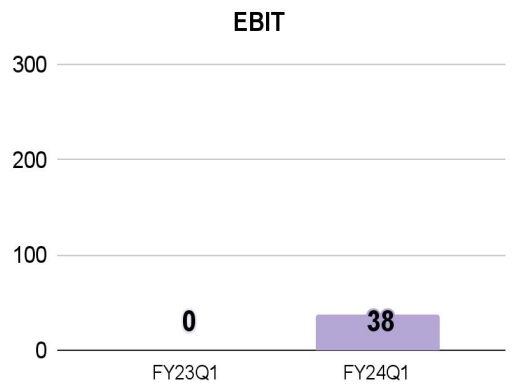
マイル/金融・コマース





その他（旅行・受託等）





注. セグメント別実績における売上収益およびEBITはセグメント間連結消去前数値です。

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

直近の当社の取り組み

フルサービスキャリア（国際旅客）

羽田＝ニューヨーク線の利便性が大幅に向上

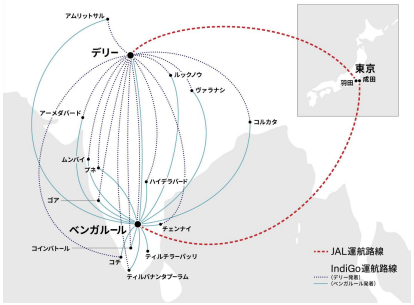
■新たに就航したアメリカン航空便とのコードシェアにより、羽田からニューヨークへの直行便が1日3便に拡充

■7月からは自社運航の羽田＝ニューヨーク線全便に最新鋭機材・エアバスA350-1000型機が就航

インド国内最大手のインディゴとコードシェアへ

■2024年冬ダイヤから、インド国内で最大のシェアを持つインディゴとコードシェアを開始することで合意

■経済発展著しいインド国内の路線網をより一層強化していく



ガルーダ・インドネシア航空との共同事業を申請

■魅力的な観光地が揃い、今後の経済発展も見込めるインドネシアを中心とした東南アジア路線の利便性を高めていく

リバプール・フットボール・クラブ（FC）と「オフィシャル・エアライン・パートナー」契約を締結！

■世界で最も有名なサッカークラブのひとつであるリバプールFCとのパートナーシップ契約で、海外でのブランド認知を強化。海外発需要のさらなる獲得につなげていく

貨物郵便

貨物専用機事業を拡大、社会課題の解決へ

■国際 貨物専用機事業
ボーイング767型貨物機が新たに香港/天津/大連に就航。海外は計6地点に拡大。DHLとの協業により成長著しい国際エクスプレス/eコマース需要へ対応

■国内 貨物専用機事業
ヤマトHDとの協業によりA321型貨物機の運航を開始。“物流の2024年問題”に対応し持続的な物流ネットワーク構築へ

マイル/金融・コマース

「JAL Pay」がクレジットカードチャージに対応

■チャージ手段の拡充により、JALの決済サービス「JAL Pay」の利便性がさらに向上。クレジットカードチャージ導入後の1カ月当たりのチャージ金額は導入前と比べ約4.4倍

■今後も日常生活でマイルをためる機会を拡充させていく

東京モノレール浜松町駅踊り場大型コルトン掲出広告

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

1. 2025年3月期 第1四半期 業績概要

2. 2025年3月期 第1四半期 業績詳細

3. 参考資料

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

2025年3月期 第1四半期　連結業績詳細

科目別連結経営成績

（単位：億円）	FY23Q1	FY24Q1	前年同期差	前年同期比
売上収益	3,814	4,240	+426	+11.2%
フルサービスキャリア	3,081	3,337	+255	+8.3%
国際旅客収入	1,475	1,659	+184	+12.5%
国内旅客収入	1,220	1,247	+27	+2.2%
貨物郵便収入	343	388	+44	+13.0%
その他収入	43	42	▲0	▲2.0%
LCC旅客収入	133	209	+76	+57.2%
マイル/金融・コマース、その他（旅行・受託等）等 (1)	598	693	+94	+15.7%
営業費用	3,530	4,061	+531	+15.0%
燃油費	794	945	+151	+19.0%
燃油費以外	2,736	3,116	+379	+13.9%
その他収支 (2)	30	42	+12	+40.7%
EBIT	313	221	▲92	▲29.5%
EBITマージン(%)	8.2%	5.2%	▲3.0pt	-
純利益	230	139	▲90	▲39.4%
RPK(百万人キロ)	16,954	18,191	+1,237	+7.3%
ASK(百万席キロ)	22,402	23,644	+1,242	+5.5%
EBITDAマージン(%) (3)	17.9%	14.2%	▲3.7pt	-

連結業績詳細は、全社連結科目別に表したものであり、報告セグメント別の売上収益ではありません。
(1) マイル/金融・コマース、その他（旅行・受託等）等=マイル提携・コマース・旅行・受託事業収入等　(2) その他収支=航空機材売却益・その他の収入・持分法投資損益・投資収支
(3) EBITDAマージン=EBITDA/売上収益　EBITDA=EBIT+減価償却費

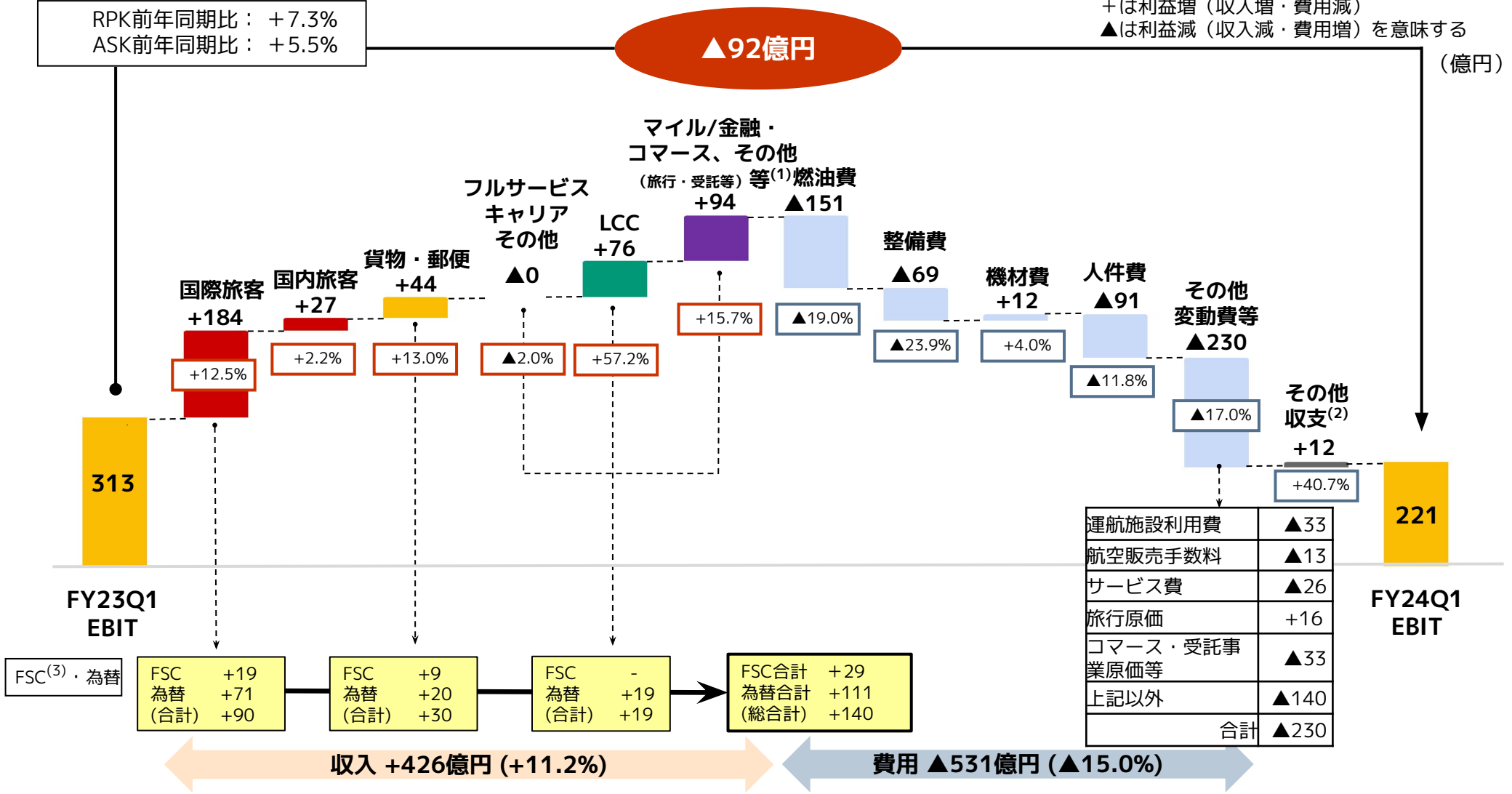
©Japan Airlines, ALL rights reserved.

2025年3月期 第1四半期　連結業績詳細
EBIT増減の科目別推移（収入／費用）

RPK前年同期比：＋7.3%
ASK前年同期比：＋5.5%

＋は利益増（収入増・費用減）
▲は利益減（収入減・費用増）を意味する

（億円）



運航施設利用費	▲33
航空販売手数料	▲13
サービス費	▲26
旅行原価	+16
コマース・受託事業原価等	▲33
上記以外	▲140
合計	▲230

(1) マイル/金融・コマース、その他（旅行・受託等）等=マイル提携・コマース・旅行・受託事業収入等
(2) その他収支=航空機材売却益・その他の収入・持分法投資損益・投資収支　(3) FSC=Fuel Surcharge

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

2025年3月期 第1四半期　連結業績詳細
EBIT増減の推移（市況／その他）

（億円）

＋は利益増（収入増・費用減）
▲は利益減（収入減・費用増）を意味する

うち為替影響	▲92億円
収入	+111億円
費用	▲203億円
燃油費	▲113億円
燃油費以外	▲90億円

▲92億円

（市況要素を除く影響額）

313
FY23Q1 EBIT

燃油以外為替 +20

収入	+111
燃油以外費用	▲90
合計	+20

燃油（ヘッジ除き） ▲153

為替	▲113
燃油市況	▲40
合計	▲153

燃油サーチャージ +29

国際旅客	+19
国際貨物	+9
合計	+29

ヘッジ損益等 +60

増収 +286

国際旅客	+94
国内旅客	+27
貨物郵便	+14
フルサービスキャリアその他	▲1
LCC	+60
マイル/金融・コマース、その他（旅行・受託等）等	+90
合計	+286

他の費用等 ▲335

燃油搭載量	▲57
整備費	▲25
運航施設利用費	▲28
サービス費	▲18
旅行原価	+16
コマース・受託事業原価等	▲32
機材費	+13
人件費	▲85
上記以外	▲117
計	▲335

221
FY24Q1 EBIT

市況影響　▲43億円

その他　▲49億円

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

2025年3月期 第1四半期　連結業績詳細
国際旅客（フルサービスキャリア）

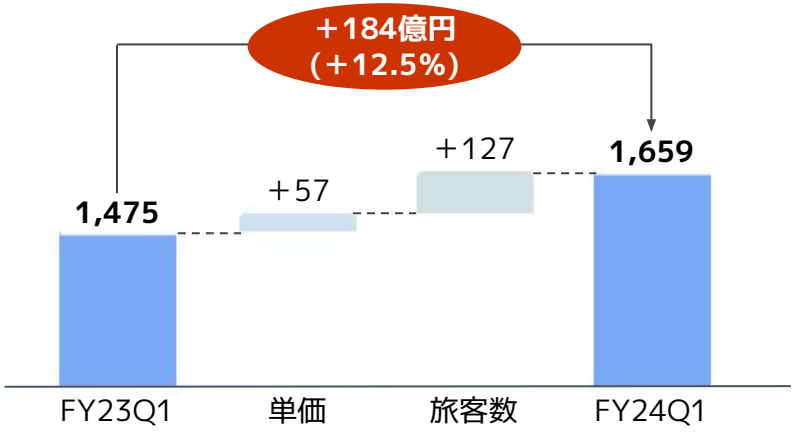
- ✔ Q1は旺盛なインバウンド需要を取り込むと同時に高単価を維持し、増収
- ✔ 今後も回復傾向にある日本発業務需要を取り込み、高イールドを維持

国際旅客事業の状況

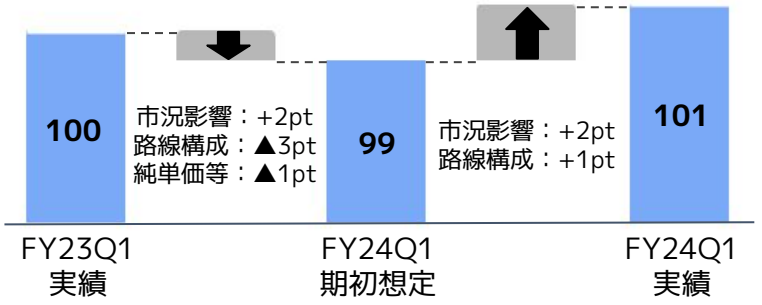
	FY23Q1	FY24Q1	前年同期比
旅客収入（億円）	1,475	1,659	+12.5%
有償旅客数（千人）	1,571	1,750	+11.4%
RPK（百万人キロ）	9,013	9,863	+9.4%
ASK（百万席キロ）	11,763	12,215	+3.8%
有償座席利用率（%）	76.6%	80.7%	+4.1pt
単価（円）(1)	93,892	94,809	+1.0%
イールド（円）(2)	16.4	16.8	+2.8%
ユニットレベニュー（円）(3)	12.5	13.6	+8.3%

(1)単価＝旅客収入/有償旅客数
(2)イールド＝旅客収入/RPK
(3)ユニットレベニュー＝旅客収入/ASK

国際旅客収入の推移（億円）



Q1実績単価変動
（FY23Q1実績＝100）



©Japan Airlines, ALL rights reserved.

2025年3月期 第1四半期　連結業績詳細
国内旅客（フルサービスキャリア）

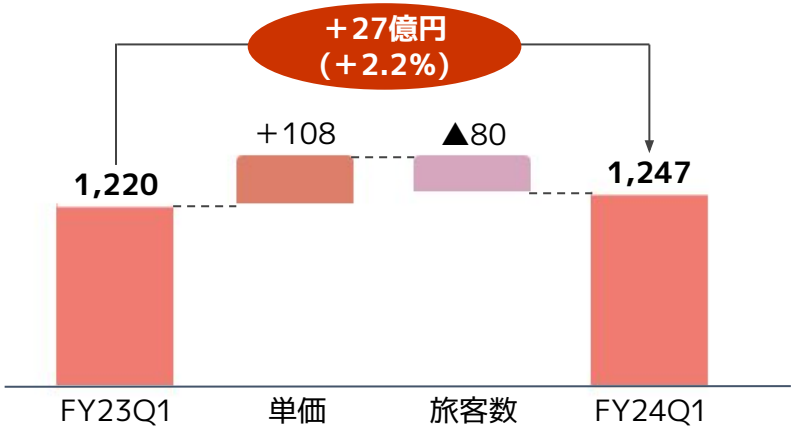
- ✔ 単価向上に取り組むも、団体旅客を中心に旅客数が伸び悩む
- ✔ 今後は各種施策により低需要便を中心に需要喚起を図りつつ、単価向上に引き続き取り組む

国内旅客事業の状況

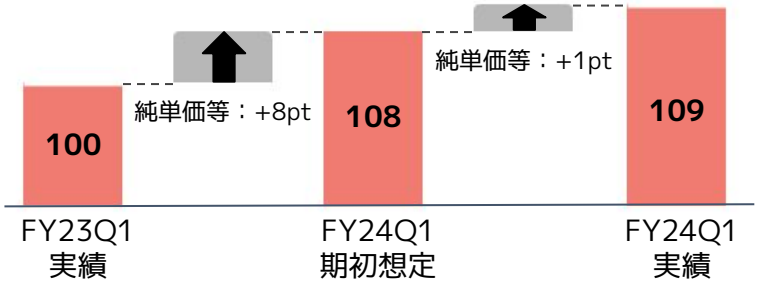
	FY23Q1	FY24Q1	前年同期比
旅客収入（億円）	1,220	1,247	+2.2%
有償旅客数（千人）	8,589	8,019	▲6.6%
RPK（百万人キロ）	6,470	6,064	▲6.3%
ASK（百万席キロ）	8,714	8,688	▲0.3%
有償座席利用率（%）	74.2%	69.8%	▲4.5pt
単価（円）(1)	14,205	15,556	+9.5%
イールド（円）(2)	18.9	20.6	+9.1%
ユニットレベニュー（円）(3)	14.0	14.4	+2.5%

(1) 単価=旅客収入/有償旅客数
(2) イールド=旅客収入/RPK
(3) ユニットレベニュー=旅客収入/ASK

国内旅客収入の推移（億円）



Q1実績単価変動
（FY23Q1実績＝100）



©Japan Airlines, ALL rights reserved.

2025年3月期 第1四半期　連結業績詳細
貨物

- ✔ 国際貨物は、ボーイング767型自社貨物機を最大活用し輸送重量の増加を図るとともに、アジア発貨物を中心とした高単価貨物の獲得強化により、前年対比増収を実現
- ✔ 国内貨物は、4月からヤマトホールディングスとの協業によりA321型貨物機運航を開始。前年対比の大幅増収に寄与

国際貨物事業	FY23Q1	FY24Q1	前年同期比
貨物収入（億円）	264	293	+11.1%
有効貨物トンキロ（百万）	1,052	1,297	+23.2%
有償貨物トンキロ（百万）	631	688	+8.9%
貨物輸送重量（千トン）	105	126	+19.7%
重量単価（円/kg）	250	232	▲7.2%

国内貨物事業	FY23Q1	FY24Q1	前年同期比
貨物収入（億円）	49	65	+33.1%
有効貨物トンキロ（百万）	400	410	+2.5%
有償貨物トンキロ（百万）	69	68	▲1.7%
貨物輸送重量（千トン）	73	72	▲0.9%
重量単価（円/kg）	67	90	+34.3%

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

2025年3月期 第1四半期　連結業績詳細
LCC

✔ **ZIPAIRは引き続き好調。SPRING JAPANは8月以降、需要の大きい北京・上海にてJALとのコードシェアを開始、通期で黒字化を見込む**

ZIPAIR	FY23Q1	FY24Q1	前年同期比
旅客収入（億円）	115	172	+49.2%
有償旅客数（千人）	244	332	+35.7%
RPK（百万人キロ）	1,338	1,902	+42.1%
ASK（百万席キロ）	1,718	2,342	+36.3%
有償座席利用率（%）	77.9%	81.2%	+3.3pt
単価（円）(1)	47,306	51,983	+9.9%
イールド（円）(2)	8.7	9.1	+4.9%
ユニットレベニュー（円）(3)	6.7	7.4	+9.4%

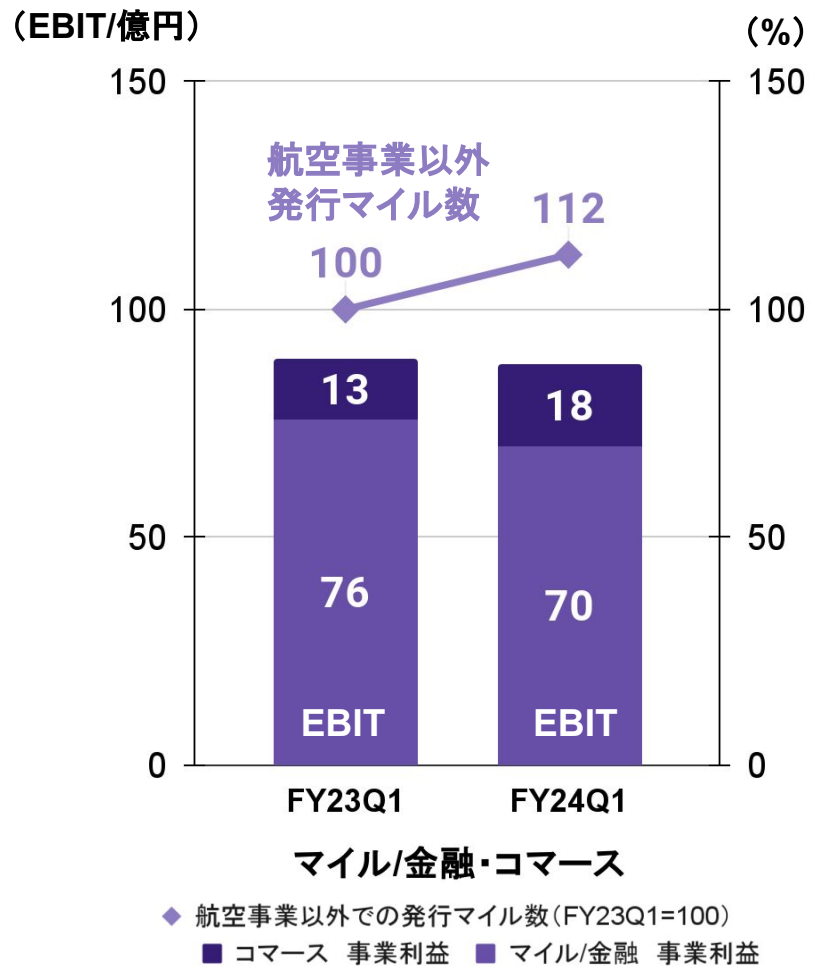
SPRING JAPAN	FY23Q1	FY24Q1	前年同期比
旅客収入（億円）	17	37	+109.9%
有償旅客数（千人）	146	259	+76.6%
RPK（百万人キロ）	131	323	+145.1%
ASK（百万席キロ）	206	398	+93.1%
有償座席利用率（%）	64.0%	81.2%	+17.2pt
単価（円）(1)	12,020	14,291	+18.9%
イールド（円）(2)	13.4	11.5	▲14.4%
ユニットレベニュー（円）(3)	8.6	9.3	+8.7%

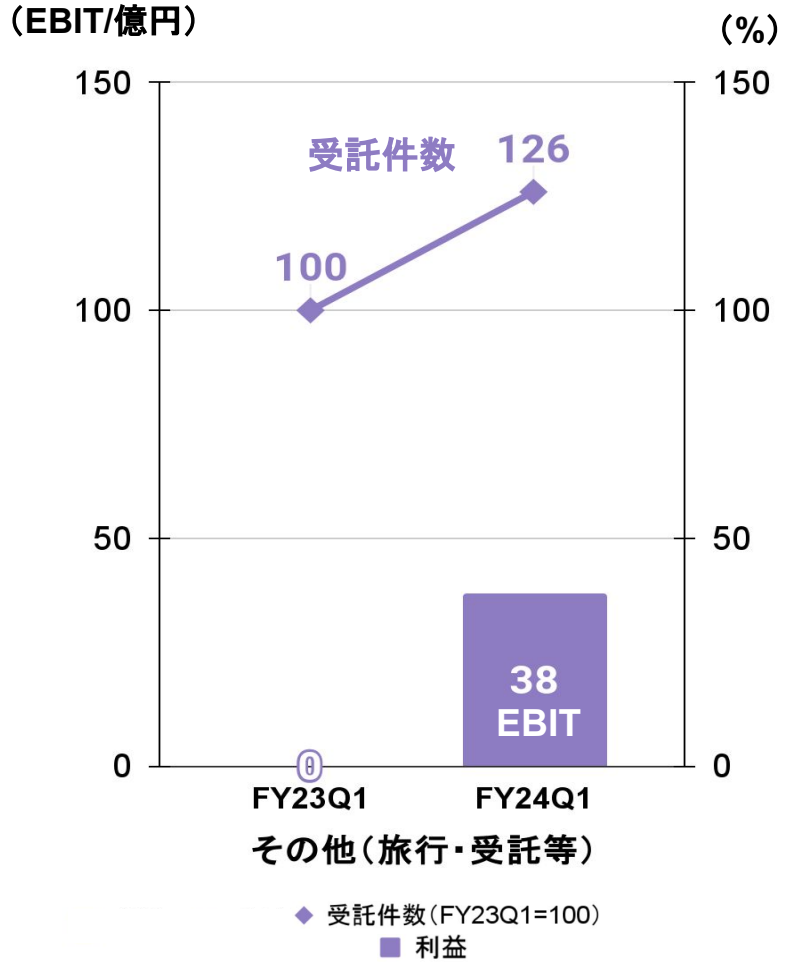
(1)単価=旅客収入/有償旅客数　(2)イールド=旅客収入/RPK　(3)ユニットレベニュー=旅客収入/ASK

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

2025年3月期 第1四半期　連結業績詳細
マイル/金融・コマース、その他（旅行・受託等）

- ✔ マイル/金融・コマース事業では、航空事業以外での発行マイル数を伸ばし、安定的に利益を計上
- ✔ その他事業では、グランドハンドリング受託件数と単価が前年に比べて増加、利益を伸長





©Japan Airlines, ALL rights reserved.

2025年3月期 第1四半期　連結業績詳細
費用詳細

主要営業費用項目

（単位：億円）	FY23Q1	FY24Q1	前年同期差	前年同期比
燃油費	794	945	+151	+19.0%
運航施設利用費	173	206	+33	+19.4%
整備費	292	362	+69	+23.9%
航空販売手数料	62	75	+13	+21.9%
サービス費(1)	104	130	+26	+25.2%
他変動費(2)	489	544	+55	+11.3%
機材費	311	299	▲12	▲4.0%
人件費	776	868	+91	+11.8%
その他の費用	526	628	+101	+19.4%
営業費用合計	3,530	4,061	+531	+15.0%

FSC（フルサービスキャリア）ユニットプロフィット

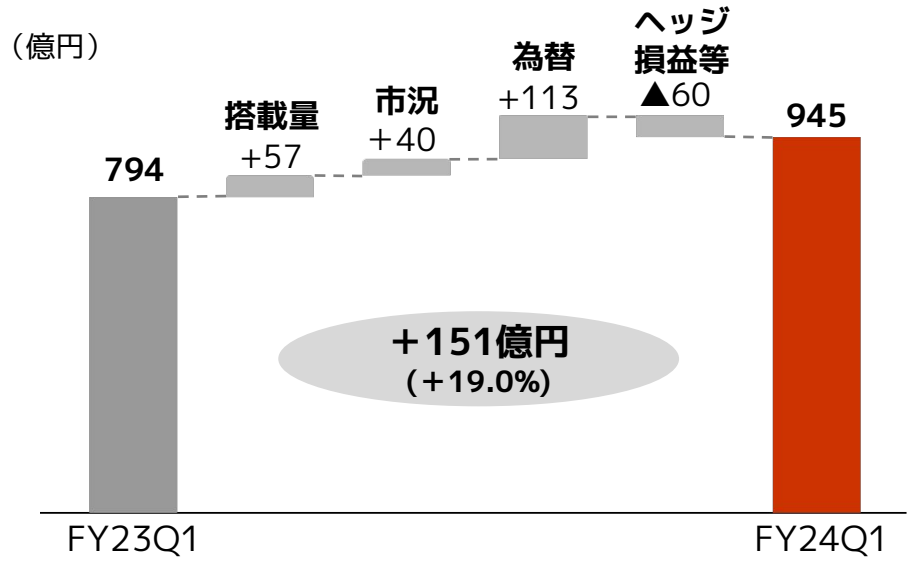
（単位：円）	FY23Q1	FY24Q1	前年同期差
UR（ユニットレベニュー）(3)	13.1	13.9	+0.7
UC（ユニットコスト）(4)	12.1	13.7	+1.5
UP（ユニットプロフィット）(5)	0.9	0.1	▲0.8

(1) サービス費＝機内・ラウンジ・貨物などのサービスに関わる費用 (2) 他変動費=旅行・マイル提携・コマース・受託事業原価 など
(3) ユニットレベニュー＝ 旅客収入 ÷ ASK (4) ユニットコスト＝ （営業費用－旅客収入以外の収入）÷ ASK (5) ユニットプロフィット＝(ユニットレベニュー) ― (ユニットコスト)

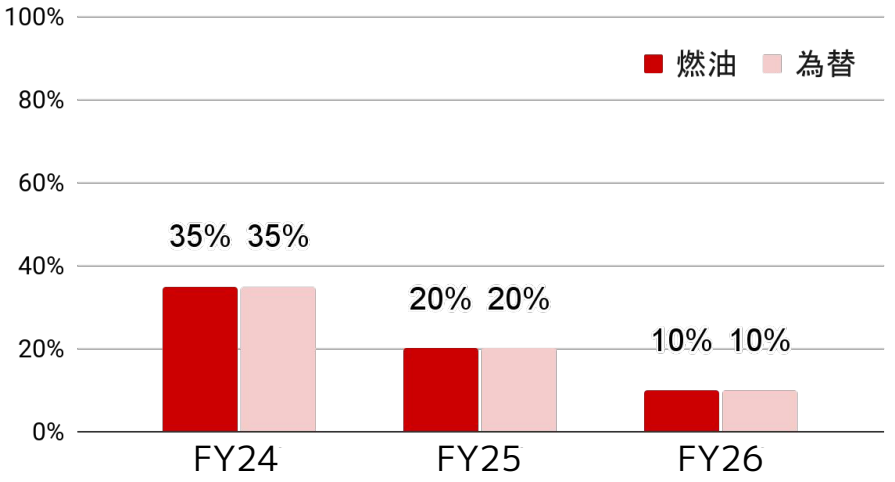
©Japan Airlines, ALL rights reserved.

2025年3月期 第1四半期　連結業績詳細
燃油費

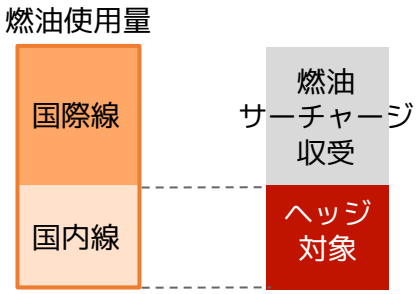
燃油費増減の推移



燃油費に対する年度別ヘッジ概況
(2024年6月末時点)

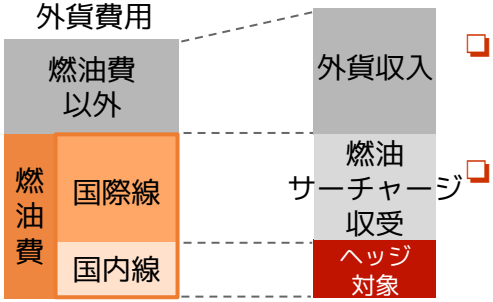


燃油ヘッジ



- 国内線使用量を対象にヘッジを実施、燃油市況変動に対応
- 国際線使用量は燃油サーチャージ収受にて対応

為替ヘッジ



- 国内線使用量の燃油費を対象にヘッジ実施、 燃油費における為替市況変動に対応
- 足許では海外発需要の高まりにより、外貨収入が燃油費を除く外貨費用を上回る

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

2025年3月期 第1四半期　連結業績詳細
財務状況・キャッシュフロー状況

BS ✔ 格付評価上の自己資本比率38.9%、ネットD/Eレシオ0倍と健全な水準を維持

CF ✔ 投資を拡大する中でフリーキャッシュフローは黒字を維持しつつ、将来の成長投資に向けて、計画的に資金調達を実施

（億円）

連結財政状態計算書	FY23期末	FY24Q1末	前期末差
総資産	26,492	27,815	+1,323
現金及び現金同等物	7,138	8,193	+1,055
有利子負債	8,872	9,488	+615
1年内返済	1,069	1,112	+43
自己資本(1)	9,099	9,074	▲24
自己資本比率 (%) (2)(5)	34.3% (41.0%)	32.6% (38.9%)	▲1.7pt (▲2.0pt)
D/Eレシオ (倍) (3)	1.0x	1.0x	+0.1x
ネットD/Eレシオ (倍) (4)(5)	0.2x (▲0.0x)	0.1x (▲0.0x)	▲0.0x (▲0.0x)

連結キャッシュフロー計算書	FY23Q1	FY24Q1	前年同期差
営業キャッシュフロー	1,236	1,060	▲176
減価償却費	369	381	+12
投資キャッシュフロー	▲355	▲389	▲33
投資・出資額	▲372	▲424	▲52
フリーキャッシュフロー (6)	880	670	▲209
財務キャッシュフロー	▲172	341	+514
キャッシュフロー合計 (7)	708	1,012	+304
EBITDA (8)	683	603	▲80

(1) 自己資本=親会社の所有者に帰属する持分
(2) 自己資本比率=親会社所有者帰属持分比率
(3) D/Eレシオ=有利子負債/自己資本
(4) ネットD/Eレシオ=(有利子負債ー現金および現金同等物）/自己資本
(5) ()内の数字は、ハイブリッド・ファイナンスを加味した格付評価上の数値
(6) フリーキャッシュフロー=営業キャッシュフロー＋投資キャッシュフロー
(7) キャッシュフロー合計=営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー+財務キャッシュフロー
(8) EBITDA=EBIT+減価償却費

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

1. 2025年3月期 第1四半期 業績概要
2. 2025年3月期 第1四半期 業績詳細
3. **参考資料**

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

参考資料
国際線大路別実績（フルサービスキャリア）

旅客収入		
（単位:%）	FY24Q1 構成比	前年同期比
米大陸線	40%	+23.1%
欧州線	18%	+21.8%
アジア・オセアニア線	29%	+1.1%
中国線	6%	▲10.6%
ハワイ･グアム線	7%	+14.1%
全路線	100%	+12.6%

ASK		
（単位:百万席キロ）	FY24Q1	前年同期比
米大陸線	4,518	+2.7%
欧州線	2,026	+17.9%
アジア・オセアニア線	3,943	▲4.4%
中国線	571	+3.3%
ハワイ･グアム線	1,156	+19.7%
全路線	12,215	+3.8%

RPK		
（単位:百万人キロ）	FY24Q1	前年同期比
米大陸線	3,876	+6.1%
欧州線	1,624	+27.7%
アジア・オセアニア線	3,083	▲0.7%
中国線	412	+49.6%
ハワイ･グアム線	866	+22.6%
全路線	9,863	+9.4%

有償旅客数		
（単位:千人）	FY24Q1	前年同期比
米大陸線	413	+5.2%
欧州線	176	+30.0%
アジア・オセアニア線	797	+1.2%
中国線	214	+54.4%
ハワイ･グアム線	147	+28.6%
全路線	1,750	+11.4%

有償座席利用率		
（単位:%）	FY24Q1	FY23Q1
米大陸線	85.8%	83.0%
欧州線	80.2%	74.0%
アジア・オセアニア線	78.2%	75.3%
中国線	72.2%	49.8%
ハワイ･グアム線	75.0%	73.2%
全路線	80.7%	76.6%

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

参考資料
航空機一覧

			前期末 2024/3/31			当期末 2024/6/30			増減
			所有	リース	合計	所有	リース	合計	
フルサービスキャリア	大型機	Airbus A350-1000	3	0	3	3	0	3	0
		Airbus A350-900	11	4	15	11	4	15	0
		Boeing 777-300ER	13	0	13	13	0	13	0
		大型機 小計	27	4	31	27	4	31	0
	中型機	Boeing 787-9	19	3	22	19	3	22	0
		Boeing 787-8	23	0	23	23	0	23	0
		Boeing 767-300ER	16	9	25	16	9	25	0
		中型機 小計	58	12	70	58	12	70	0
	小型機	Boeing 737-800	47	9	56	47	9	56	0
		小型機 小計	47	9	56	47	9	56	0
	リージョナル機	Embraer 170 / Embraer 190	32	0	32	32	0	32	0
		De Havilland DHC-8-400CC	5	0	5	5	0	5	0
		ATR42-600 / ATR72-600	14	1	15	14	1	15	0
		リージョナル機 小計	51	1	52	51	1	52	0
	貨物機	Airbus A321-200	0	2	2	0	3	3	+1
		Boeing 767-300ER	0	2	2	0	2	2	0
		貨物機 小計	0	4	4	0	5	5	+1
		フルサービスキャリア 合計	183	30	213	183	31	214	+1
LCC		Boeing 787-8	8	0	8	8	0	8	0
		Boeing 737-800	0	6	6	0	6	6	0
		LCC合計	8	6	14	8	6	14	0
総計			191	36	227	191	37	228	+1

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

参考資料
2025年3月期　セグメント別通期連結業績予想

※FY24通期予想は2024年5月2日発表　決算説明会資料より再掲

（単位：億円）	FY24 Q1単独	FY24 前年同期比	FY24 通期予想
売上収益	4,240	+11.2%	19,300
フルサービスキャリア	3,346	+8.6%	15,030
国際旅客収入	1,661	+12.6%	7,100
国内旅客収入	1,247	+2.2%	5,980
貨物郵便収入	388	+13.0%	1,670
その他収入	49	+19.3%	280
LCC	247	+64.6%	1,150
マイル/金融・コマース	460	+4.8%	2,230
その他（旅行・受託等）	547	+7.1%	2,900
連結調整額	▲361	-	▲2,010
営業費用	4,061	+15.0%	17,750
燃油費	945	+19.0%	4,350
燃油費以外	3,116	+13.9%	13,400
その他収支	42	+40.7%	150
EBIT	221	▲29.5%	1,700
フルサービスキャリア	79	▲67.8%	1,100
LCC	22	-	130
マイル/金融・コマース	88	▲0.9%	440
その他（旅行・受託等）	38	-	120
連結調整額	▲6	-	▲90
純利益	139	▲39.4%	1,000

燃油・為替の市況変動によるQ2以降の利益影響
（ヘッジ、燃油サーチャージ等込み）

（億円）	燃油市況 (USD/bbl)	70ドル	80ドル	90ドル	100ドル
	ドバイ原油				
	シンガポール・ケロシン	90ドル	100ドル	110ドル	120ドル
為替 (円/USD) 135円		＋220	＋170	＋120	＋70
為替 (円/USD) 145円		＋150	＋80	予想前提 ±0	▲50
為替 (円/USD) 155円		＋70	＋20	▲30	▲120
為替 (円/USD) 165円		＋30	▲30	▲100	▲200

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

参考資料

2025年3月期　通期連結業績予想

国際・国内旅客事業（フルサービスキャリア）

国際旅客事業	CY19 (4)	FY23	FY24 予想	CY19比 (%)			FY23比 (%)		
				通期	上期	下期	通期	上期	下期
旅客収入（億円）	5,312	6,223	7,100	+33.6%	+27.1%	+40.5%	+14.1%	+10.4%	+17.9%
有償旅客数（千人）	9,796	6,628	7,459	▲23.9%	▲25.0%	▲22.7%	+12.5%	+12.7%	+12.4%
RPK（百万人キロ）	48,822	37,201	40,689	▲16.7%	▲17.4%	▲15.9%	+9.4%	+8.5%	+10.3%
ASK（百万席キロ）	55,177	47,328	49,997	▲9.4%	▲10.3%	▲8.5%	+5.6%	+5.2%	+6.1%
有償座席利用率（%）	88.5%	78.6%	81.4%	▲7.1pt	▲7.1pt	▲7.1pt	+2.8pt	+2.4pt	+3.1pt
単価（円）(1)	54,229	93,897	95,281	+75.7%	+69.8%	+81.8%	+1.5%	▲1.8%	+4.9%
イールド（円）(2)	10.9	16.7	17.5	+60.5%	+54.3%	+67.0%	+4.4%	+2.0%	+6.9%
ユニットレベニュー（円）(3)	9.6	13.1	14.2	+47.7%	+42.0%	+53.6%	+8.1%	+5.1%	+11.1%

国内旅客事業	CY19 (4)	FY23	FY24 予想	CY19比 (%)			FY23比 (%)		
				通期	上期	下期	通期	上期	下期
旅客収入（億円）	5,542	5,508	5,980	+7.9%	+7.1%	+8.8%	+8.6%	+11.2%	+5.9%
有償旅客数（千人）	38,368	35,109	36,129	▲5.8%	▲5.6%	▲6.1%	+2.9%	+4.6%	+1.2%
RPK（百万人キロ）	29,070	26,771	27,384	▲5.8%	▲5.2%	▲6.4%	+2.3%	+4.7%	▲0.1%
ASK（百万席キロ）	36,539	35,184	35,457	▲3.0%	▲2.5%	▲3.5%	+0.8%	+1.7%	▲0.1%
有償座席利用率（%）	79.6%	76.1%	77.2%	▲2.3pt	▲2.3pt	▲2.4pt	+1.1pt	+2.3pt	▲0.0pt
単価（円）(1)	14,445	15,690	16,574	+14.7%	+13.4%	+16.1%	+5.6%	+6.4%	+4.8%
イールド（円）(2)	19.1	20.6	21.9	+14.7%	+13.0%	+16.4%	+6.3%	+6.2%	+6.3%
ユニットレベニュー（円）(3)	15.2	15.7	16.9	+11.3%	+9.8%	+12.9%	+7.9%	+9.5%	+6.2%

(1) 単価=旅客収入/有償旅客数　(2) イールド=旅客収入/RPK　(3) ユニットレベニュー=旅客収入/ASK
(4) CY2019＝2019年1月～12月。ただし、1月～3月は社内管理上の簡便的手法で試算したIFRS値を使用。

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

明日の空へ、日本の翼

JAPAN AIRLINES

当資料に関するお問い合わせ先

日本航空株式会社

財務・経理本部　財務部

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

免責事項

本資料には、日本航空株式会社（以下「当社」といいます）及びそのグループ会社（以下当社とあわせて「当社グループ」といいます）に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が当該資料作成時点（又はそこに別途明記された時点）において入手した情報に基づく、当該時点における予測等を基礎として作成されています。これらの記述のためには、一定の前提・仮定を使用しています。これらの記述又は前提・仮定は当社経営陣の判断ないし主観的な予想を含むものであり、様々なリスク及び不確実性により、将来において不正確であることが判明し、あるいは将来において実現しないことがあります。したがって、当社グループの実際の業績、経営成績、財政状態等については、当社の予想と異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、日本その他の国・地域における経済社会状況、燃油費の高騰、日本円と米ドルその他外貨との為替レートの変動、テロ事件及び戦争、伝染病その他航空事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本資料に掲載されている将来情報に関する記述は、上記のとおり当該資料の作成時点（又はそこに別途明記された時点）のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

本資料に掲載されている情報は、情報提供を目的としたものであり、いかなる有価証券、金融商品又は取引についての募集、投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。

本資料への当社グループに関する情報の掲載に当たっては万全を期しておりますが、監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性、完全性、公正性及び確実性を保証するものではありません。

従いまして、本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではございません。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は日本航空株式会社に属します。

©Japan Airlines, ALL rights reserved.